

授業科目 臨床栄養学Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	健栄
渡 邊 栄 吉		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GI0】 栄養素の代謝と作用は、病気の予防および治療において重要である。臨床栄養学Ⅰは、臨床栄養学Ⅱ、臨床栄養学実習、臨床栄養学Ⅲ、臨床栄養管理と続く一連の科目と位置づけられる。 2年前期までに履修した食物や栄養に関連する科目および一般臨床医学関連科目に結びつけて理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 疾病に関して病理学や内科学で学んだ知識を確実にし、基本的医学用語の意味や概念を説明できる。 2. 疾病の予防および治療における臨床栄養学の位置づけと現状を修得する。 3. 主要な臨床検査値について、その目的や意義の説明と結果の解釈ができる。 4. 生活習慣病を中心にして、種々の疾患における食事療法の意義と概略を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	臨床栄養学総論			1	講義
2	身体計測（体組成）の評価			2～4	講義
3	身体所見と臨床検査値の見方と栄養管理への活用Ⅰ			2～4	講義
4	身体所見と臨床検査値の見方と栄養管理への活用Ⅱ			2～4	講義
5	代謝疾患 糖尿病Ⅰ			2～4	講義
6	代謝疾患 糖尿病Ⅱ			2～4	講義
7	代謝疾患 高脂血症Ⅰ			2～4	講義、スライド
8	代謝疾患 高脂血症Ⅱ			2～4	講義、スライド
9	循環器疾患 高血圧Ⅰ			2～4	講義
10	循環器疾患 高血圧Ⅱ			2～4	講義
11	代謝疾患 肥満Ⅰ			2～4	講義
12	代謝疾患 肥満Ⅱ			2～4	講義
13	循環器疾患 動脈硬化			2～4	講義
14	その他の疾患 がん			2～4	講義
15	まとめ			1～4	講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特に指定しない			
参考書		病態栄養ガイドブック 糖尿病治療ガイド	日本病態栄養学会変編 日本病態栄養学会変編	メディカルレビュー社 文光堂	2008・3,500円 700円・2008-2009
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、授業中の態度、期末試験から評価			【履修上の留意点】 講義で学んだことを整理し、復習する。		